会報
日本勤労者山岳連盟（富山県連盟）
新日本スポーツ連盟

三島野スポーツクラブ

No. 182
2015年11月1日
代表　岩井　富雄
射水市宝町 1364-35
TEL・FAX 0766-57-8180

頸城・海谷渓谷　　小木　清 画

11月と12月の企画

・11/22 里山深訪 三千防山
・12/5 忘年会と二上山トレッキング
自主企画 一高山 卯ぐ山旅
11/28~29 石割山と忍野八海

書籍紹介 伊藤正一写真集 源流の記憶

報告

・10/3~4 北信越労山交流会と登山
・10/17~18 県スポーツ連盟交流と講習会

自主企画山行報告
10/10~11 磐悌山と安達太良山

10/25 大門山・赤摩木古山の第一報

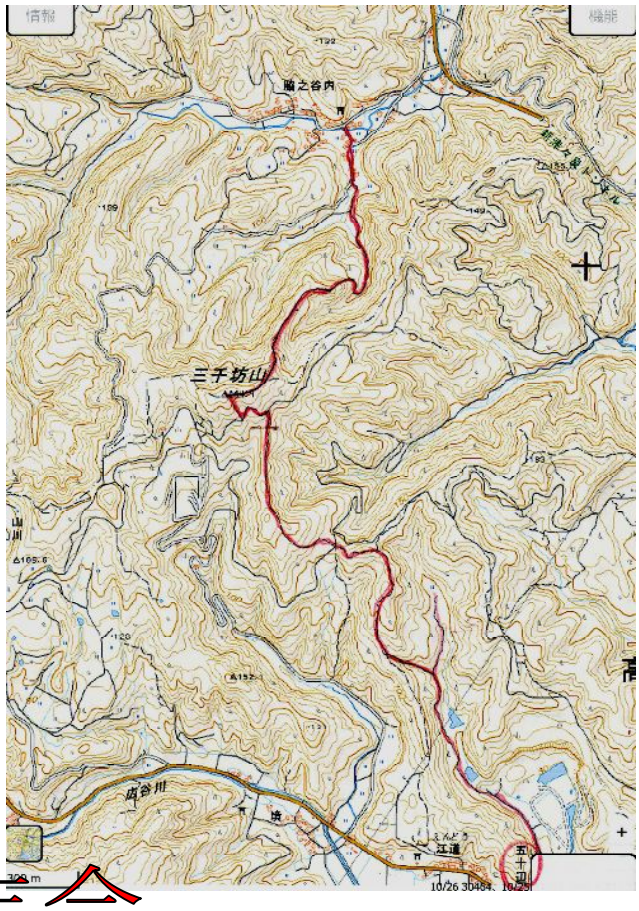
おぎきよし水彩画展のあんない
12/1~6 小形厚示館

11月・12月企画案内

晩秋から初冬のたたずまいは
私たちの心に郷愁をよびます

11/22（日） 富山ウォーキングクラブとの共同企画 三千坊山 トレッキング

【集合・出発】9 時 00 分　薬勝寺 P
【行程】
・五十辺（いからべ）10：30 スタート
・江道（えんどう）からの登山道と合流
・三千坊山頂上 12：00（昼食）
・下山道は展望台から再び山頂 13：20
・脇之谷内への登山道を下る
・脇之谷内にデポした車で出発点の車を取りに行く
・頭川「凧の湯」入浴後、薬勝寺 P15：30
【参加申込】
11 月 8 日まで林　憲彦へ
電話・FAX 0766-82-6035



12/5（土） 二上山トレッキング ＆ 忘年会

2013 年 12 月の二上山

【集合・出発】城光寺公園（野球場向い）8 時 00 分
【コース】（変更することもあります）
城光寺公園　万葉ライン　旧登山道　二上山
大師ヶ岳　（往路を戻る）　展望台　城光寺滝
城光寺公園
〔歩行時間　約 3 時間　体力、技術 ★☆☆☆☆〕

忘 年 会

○越乃庭　午後 1 時～3 時
○会費　3,000 円
【参加申込】11 月 21 日まで　岩井富雄へ
FAX 57-8180
トレッキングまたは忘年会のみの参加も可です。
申し込み時に知らせてください。

堀井自主企画

〈L〉の都合で日程を変更しました

11/28(土)～29(日)

冠雪の富士山を愛でる山旅

三つ峠山、大菩薩嶺に次ぐ企画 第三弾

石割山と忍野八海（おしの はっかい）

山梨県忍野村

【集合・出発】6 時 00 分　薬勝寺 P

【行程】

11/28　忍野八海を散策（1 時間 30 分）

　　忍野八海センターハウスで宿泊

11/29　石割山登山

標高差　約 400m　行動時間　3 時間 30 分

体力・技術とも　★☆☆☆☆　〈L〉堀井泰則

【費用】17,000 円（宿泊費、交通費、保険、雑費）

【参加申込】11 月 10 日まで堀井泰則へ

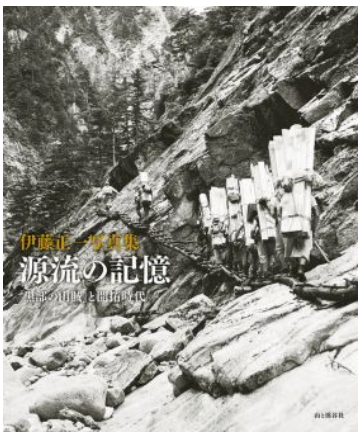
FAX25-2792 または携帯 090-1314-6394 へ

最大募集人数は 8 名です。（先着順）

忍野八海（おしのはっかい）は山梨県忍野村にある湧泉群。富士山の雪解け水が地下の溶岩の間で、約 20 年の歳月をかけて濾過され、湧水となって 8 ヶ所の泉をつくる。国指定の天然記念物、名水百選。富士山の構成資産の一部として世界文化遺産に登録されてい

書籍紹介

『伊藤正一写真集 源流の記憶「黒部の山賊」と開拓時代』



山と渓谷社 刊

伊藤正一　編集

2,300 円 186 ページ

航空機エンジンの開発者が、戦後、山小屋の主に。秘境・黒部源流域の開拓者であり、『エリートの趣味』といわれた登山を誰での楽しめるようにした「日本勤労者山岳連盟」の創設者でもあります。「山賊」といわれた猟師たちとの交流を綴った「定本 黒部の山賊」は昨年、ベストセラーに。

９２歳となった伊藤正一さんの写真集です。

伊藤正一

大正１２年（１９２３）松本市生まれ、６歳のとき木曽御嶽へ登って以来、北アルプスをくまなく歩いて現在に至る。昭和２１年三俣蓮華小屋（現在の三俣山荘）、水晶小屋を譲り受け、「山賊」たちの協力を得て湯俣山荘、雲の平山荘を次々と建設し、昭和３１年には北アルプス最後の楽園「雲の平」への最短ルート・伊藤新道（現在、一般登山道として使われていない）を独力で完成させた。日本勤労者山岳連盟の創設者として、大衆登山発展のため、熱意を注いできた。

10／3～4　北信越労山交流と登山　報告

飲んで、食って、喋って、おでんが最高に美味しかった

荒井英治

10 月 3 日、4 日に石川県の白山山麓の吉野谷セミナーハウスで開催された第６回北信越ブロック交流登山に三島野スポーツクラブから的場、背渡、堀井、小坪、荒井の 5 名が参加しました。名峰白山のブランド力と、一泊懇親会付きで参加費 2,000 円ポッキリの安さの魅力か、総勢 72 人の参加者があり、これまでにない盛況でした。

１日目は午後５時４０分から夕食兼交流会が始まり、北信越協議会会長あいさつ、主管の石川労山会長の歓迎のあいさつの後、おでん、おにぎり、酒・ビールを口に入れながら、ＮＰＯ法人「白山の自然を考える会」の若い会員のプロジェクター映像を使ったチブリ尾根登山道の整備活動の報告を聞きました。植物相を乱さないような登山道整備の方法を摸索しながら実行している様子が映像と口頭で報告され、彼らの自然に対する繊細な心遣いに感心しました。この登山道整備事業には石川県労山の会員多数が労働力として応援をしていて、ＮＰＯ法人と労山の協力関係がとてもよく理解でき、山愛好者の在り方としてこんな形態もあるのかと考えさせられました。この報告も良かったけれど、一番感動したのはおでんでした。いくつもの大きな鍋にいろいろな具材を時間をかけて煮込んだおでんが、72 人の腹に収まらないくらいたっぷりと並べられていて好きなだけ食べることができました。食いしん坊の私は新米のコシヒカリでにぎられたオニギリを４個も平らげた上、おでんのおかわりを 2 回もしてしまいました。宿泊代こみの 2,000 円の参加費でよくもこんな豊富な酒と料理が提供できるなと心配になるくらいのオモテナシでした。私の推測するところ、セミナーハウスの管理運営がこの吉野谷中宮地区の人たちに委託されていて、住民もこのハウスが集落の再生のための要として大切に思っているのでしょう。多分前日から地区の母ちゃんたちが地物野菜を調理し、時間をかけて煮込んで味を沁み込ませて私たちに出してくださったに違いありません。

さて 2 日目はチブリ尾根登山。朝の 4 時に起床し,三島野チームは、①白山登山（砂防新道を通って白山へ）、②別山登山（チブリ尾根ルートで別山まで）、③チブリ尾根避難小屋までの登山、のうち一番やさしい③を選択。他のグループの人たち数人と一緒に市ノ瀬の登山口から避難小屋までのコースを歩きました。歩き出してから少しすると小雨がぱらつき出して、雨具を着る。しばらくすると雨も止んだので雨具を脱ぐ。登山中、前夜のＮＰＯ法人のメンバーの説明にあった登山道の整備の箇所を探しながら登る。ある場所に山の斜面からの流水を登山道に流れ込まないよう岩片を積上げてミニチュア版の堤防のようなものを築いたりしてあるのを見つけて、なるほどこれがそうかと納得。やがて樹林帯を抜けて見晴らしの良いところに出てしばらく登るとやがて避難小屋に到着。白山の頂上は雲の断片に隠れて見えないが視界はよいので山腹や 2000m級の山はよく見えました。避難小屋は想像していたのとは違って、綺麗で、管理がしっかりとなされていることが分かり、入り口の側にトイレがあるのに臭いがまったくしないので、最初はトイレ無しの小屋かと思っていました。今回の登山では、登山道が始めから終わりまで手取層の地層の上にあるので、どんな岩肌が見れるか期待していました。よくみがかれたチャートや正珪岩の礫を含んだ砂礫層は、私の村の地盤から時々出てくる同様の礫の供給源と考えられるのでことさら親しみを感じました。シダ植物のジャングルや大平原の中を恐竜など様々な動物が歩き廻っていた２億年～数千万年前の地球表面の様子も想像されて楽しかったです。我が上野村の地層は 70 万年前ほどに堆積したものです。どちらの小石もその大きさと形を変えることなくとてつもない長い時間の中を旅してきたものです。下山後すぐに温泉に直行、汗を流して帰ってきました。

白山・チブリ尾根　行動記録

4：00 起床→5：00 吉野谷セミナーハウス出発→5：40 市ノ瀬駐車場着→6：00 駐車場奥の登山口より登山開始→7：30 第一の水場→9：05 第二の水場（標高 1280m、チブリ避難小屋まで 3.4ｋｍ、市ノ瀬から 3.2ｋｍの標識有り・・市ノ瀬から避難小屋までのほぼ中間地点となる）→10：30 避難小屋着・昼食→11：00 下山開始→12：40 第二の水場→14：10 登山口着→
白峰温泉総湯にて入浴後帰路へ 17：40 薬勝寺Ｐ着

報告　10/17～18　新日本スポーツ連盟 富山県連盟の交流と研修会

10 月 17 日（土）、18 日（日）の 2 日間、山野スポーツセンターとその近辺で実施したスポーツ連盟富山県連盟主催の「研修会＆スポーツ交流会」はお天気に恵まれて、秋晴れの爽やかな自然の中で、登山やパークゴルフなどで交流しました。参加者は昨年より若干少ない総勢 32 人でした。17 日（土）は登山、パークゴルフ、スキー学習会が行われ、三島野スポーツクラブからは、登山に的場、寺山、甲かおる、荒井の 4 名、パークゴルフには林さんが参加しました。私は登山に参加しましたので、簡単に報告します。

8 時 30 分にセンター前に集合して、山村リーダーの車に乗り合わせて、有峰林道ゲート前の駐車場に車を止め、そこから歩きました。極楽坂山への旧登山道入口が藪状態になっていて、アスファルト林道を結構歩いた末、幅広く刈り込みされた歩き易い登山道に入り、そこからは何の不安もなくのんびりと、少し色づき始めた広葉樹と植林された杉林のまざった樹林の間を歩きました。途中の白樺平では植樹祭（？）らしいイベントが行われていたり、山頂付近では頭上をパラグライダーが３機ほどスキー場斜面からの上昇気流に乗って旋回しながら飛行していました。手を振ると相手も手を振って答えてくれました。頂上について昼食をとり、少し休んでからスキー場斜面を下りてきました。ススキの斜面は全面刈り払ってあったので下山は楽勝と思いきや、予想に反して、刈り倒されたススキの下にはススキの株や角ばった岩片が隠れていて、足元を注意しながらの急斜面の下降は精神的に疲れました。このような広い斜面を草刈機で刈るのは大変な作業量だろうし、経費もバカにならないだろうと、スキー場管理も大変だなと感じました。四苦八苦の末、午後３時過ぎにスキー場駐車場に着き、山野スポーツセンターに車で戻り、午後５時からロビーでの開会式、入浴、夕食、懇親会。　　懇親会では、長野県・石川県（スキー協関係）の人たちも交えて思い思いの話題で話が弾み、寝たのは１１時を過ぎていました。

翌日２日目は,９時３０分からの研修会では『体幹を鍛える』の演題で泉敏郎先生の講演を聞きました。泉先生は冗談や巧みな例え話と身振り手振りを交え、受講者にもその運動をさせ、その効果を実感させながら話を進めていかれ、休憩時間無しでの２時間もアッという間でした。私たちが正しいと思ってやっているトレーニングのやり方が、最新の身体科学の研究で、まったく効果がなかったり、逆に身体を痛めてしまうこともあると話され、理に適ったトレーニングの大切さを指摘されました。愉快だったのは、目を閉じてその場で足踏みウォーキングをして、その人の位置がどう移動していくかを試した時でした、左カーブを描いている人や、始めのしばらくは位置が変わらないでいてもそのうちにだんだん右斜め方向へ移動し始める人など、いろんなパターンが出ました。制限時間内で同じ場所で変わらずに足踏みできた人は一人もいませんでした。本人は真面目に一所懸命にその場ウォーキングをしているつもりでいるのです。そのギャップの大きさに、自分と他人の思わぬ動きに皆さん大笑いしていました。これは、私たちの、バランスや方向感覚がいかに目に大きく頼っているか、また身体の歪みや筋肉の癖や偏りがあるかを教えていると言えます。その他、肩関節や股関節の柔軟性を高めるための不思議なトレーニングも試してみてその効果に感嘆しました。こんな面白くて役立つ話をもっと多くの人に聴いてもらいたかったです。出来たら三島野スポーツクラブ単独で泉先生をお呼びして研修会を開いてクラブの皆さんに聞いてもらいたいと思いました。　　講演終了後、泉先生に対して多くの受講者から質問があり、どの質問にも丁寧に答えてくださいました。その後、閉会式と昼食を終えて今回の研修会＆スポーツ交流会は終了しました。　　（荒井英治　記）

福島の名峰　磐梯山と安達太良山に紅葉をたずねて

續池　巌

10 月 10 日、11 日の 1 泊 2 日で紅葉の名高い福島の二つの名峰に登った。堀井〈L〉カーは定員いっぱいの 8 名を乗せて北陸道～磐越道を計画通りに快調に走りぬく。

1 日目の磐梯山は 15 年ほど前に登った山で懐かしい気持ちでした。10 時過ぎに着いた八方台駐車場は連休の登山者の車ですでに満杯。車を整理する人の指示で道路片側に停め、装備を整えて登山道に入る。天気は『晴れ時々曇り』で好い登山日和。ブナ林が黄葉して美しい。カメラマンが盛んにこの紅葉の秋を撮っている。

なだらかな登山道が終わり、今は廃業した中の湯温泉で小休止。かつての温泉宿は朽ち落ちて不気味な雰囲気だ。山ガールの若々しい声が聞こえ、登山文化が継承するようで嬉しい。すでに登頂して下ってくる登山者がなんと多いことか。小休止で展望すると、磐梯山噴火でできた檜原湖や秋元湖などいくつもの湖が点在する裏磐梯が眼下に広がっている。旧磐梯山を崩壊させた爆裂火口壁が切り立っている。12 時過ぎ、弘法清水で昼食休憩。喘ぎながらも最後の 180 m を全員そろって登り切り 13：12 山頂 3 等三角点（1,818m）にタッチ。冷たい風が通り、登頂記念写真を撮って下山開始する。弘法清水に戻り冷たい湧水を飲む。売店で売っている携帯トイレパックを使い、用便を登山口まで持ち帰ることが推奨されていた。

午後 3 時を過ぎてもファミリー登山者や外国人たちが軽装で登ってくるのに出会う。秋の日は「つるべ落とし」というがランプなど持っているのか心配になる。順調に下り、中の湯を過ぎたあたりで SL・的場さんが“車を回収してくるから”と軽快な足取りで先行する。4 時丁度登山口に戻ると、既に車が待っていた。的場さんありがとう。

今日の宿「裏磐梯国民宿舎」着いて入浴と楽しい夕食をいただく。ミーティングで堀井さんから「バテない歩き方」レクチャーを聞き、大いに納得。明日の天気が今一つ気がかりだった。

2 日目の安達太良山はくろがね小屋を利用して夏、秋、冬とたびたび登った山で、これもまた懐かしい山行でした。目が覚めると小雨が降っている。ネットで「短時間雨量予報」を見ると、9 時過ぎに一時雨雲が切れそうだが一日雨の予報で少し心配になる。朝食時間を 1 時間早めてもらい、6 時に朝食。食事前にザックは車に積み込んであり、登山靴を履いて車に乗り込み安達太良山を目指す。街道筋の木々は鮮やかに紅葉し、車窓から左右を眺めては歓声があがる。

7 時半、岳温泉スキー場 P の一番先頭に駐車する。雨模様のためか登山者の出足が鈍ったようだ。今回は登りでスキーゴンドラを利用して時間短縮した楽ちん登山となった。標高差 390m をいっきに 1,350m まで登る。登山道は木道や踏み石、砕石などで整備され歩きやすい。一時雲が切れて弱い日が射して喜んだが、すぐに小雨と強い風が吹き始めた。ハイマツなどの低灌木帯となると、ドウダンツツジ、ミネカエデ等が赤、黄に染まり緑のハイマツと色鮮やかなコントラストを呈している。一帯の斜面すべて覆い尽くす紅葉は曇天も何のその、息をのむ鮮やかさだ。“素晴らしい！”の感嘆の声に足も止まり、シャッターを押すことしきり。草木のない山頂部の砂礫帯にデンと聳える頂上岩峰にクサリを頼って攀じ登る。山頂（1,700m）はさらに冷たい強風が吹きすさぶ。『八紘一宇（はっこういちう）』と大きく刻印した巨大な石柱が立っていて、一瞬太平洋戦争の亡霊を見るようだった。

下山は「牛の背～くろがね小屋」コースをとる。風速 20m を超えるかと思える強風に体を倒されようになり恐怖感を覚え、足を踏ん張る。硫黄分で白い火口壁に囲まれた「沼の平」を望む。硫黄ガス集を感じる。真っ黒な岩壁の鉄山を見上げる。見渡す限りに広がる錦秋に彩られた紅葉が素晴らしい。

11 時半くろがね小屋で昼食。正午に小屋を発つ。四駆車も通る広い道を快調に進む。川向の紅葉にまたまた眼が奪われる。遠回りの「馬車道」を避け、狭く掘れ込んだ「旧道」を選ぶと靴やスパッツが泥まみれに。2 時少し前に駐車場に戻った。くろがね小屋の源泉から引いた岳温泉に入浴して帰路に着いた。登山で疲れたからだ安全運転をしてくれた堀井さんと的場さんに感謝！

自主企画山行報告 10/10~11 磐梯山 ＆ 安達太良山

メンバー：〈L〉堀井泰則、續池　巌、的場邦夫、上田千秋、甲かほる、續池静子、竹内啓子、藤井洋子

〔行程記録〕

10/10　薬勝寺Ｐ5：00 ⇨ 八方台登山口 10：00 ⇨ 中の湯 10：50 ⇨ 弘法清水 12：30（昼食）⇨ 磐梯山山頂 13：20 ⇨ 弘法清水 14：00 ⇨ 中の湯 15：35 ⇨ 登山口 16：00

裏磐梯国民宿舎（泊）

10/11　宿舎 6：30 ⇨ 奥岳登山口 7：30 ⇨（あだたらゴンドラリフト）山頂駅 8：30⇨ 安達太良山山頂 9：50～10：05 ⇨ 牛の背 10：25 勢至平 10：50 ⇨ くろがね小屋 11：30（昼食）12：00⇨ 奥岳登山口 13：45

岳温泉入浴 14：15　　帰路へ 15：20

ひとくち感想

錦秋の道　安達太良山・勢至平

藤　井：磐梯山は噴火のたまもの、活火山で雄々しく、また眼下に見た檜原湖の大きさにびっくり。安達太良山の見事な紅葉に感激。登山の楽しさを味わった二日間でした。

竹　内：“会津磐梯山は宝のや～まヨ”どんな宝なの？宿舎のご主人に尋ねると「大飢饉の折、山にある笹に花が咲いて、その実のおかげで生き延びられた」とのこと。なるほど！
安達太良山の山頂付近は風が強く、思わずよろける。その風によって雲や霧が飛ばされて、現れた山と空の美しさは格別。山が吹き飛んだ爆裂火口の威容の鉄山と緑に赤、オレンジ、黄色の満艦飾の見事さ。対照的でした。樹高の高いナナカマドがたくさんありましたが、その赤い実のえもいわれぬ美しさが今も目に焼き付いています

續池静：会津磐梯山と安達太良山と一度に二山の贅沢な山行で日常から離れ、山に集中しました。紅葉真っ盛りでした。秋は毎年高山の紅葉を楽しみたいと思いました。ルンルンでは歩けなくなりましたが、ゆっくり慎重に歩き続けたいと思いました。山は若者であふれ活気が戻りました。ありがとうございました。

的　場：磐梯山の八方台登山口の紅葉はドンピシャでしたが、頂上付近は遅かったです。でも安達太良山の紅葉は素晴らしくまさにドンピシャでした。贅沢をいえば“これが快晴だったら…”

甲　か：5時間かけて初めての東北・福島への山行。磐梯山、安達太良山は紅葉真っ最中。真っ赤なドウダンツツジ、ナナカマドと黄色のミネカエデと緑のハイマツが絶妙に入り混じって最高！ドウダンツツジがあんなに大きく育つとは知りませんでした。宿で、山で疲れずに歩く速さ談義や腰痛対策体操をしたり「民謡・会津磐梯山」について調べたりして楽しかった。ありがとうございました。

上　田：磐梯山は紅葉を眺めながらゆっくりペースで楽しく登れました。安達太良山はとても変化に富んだ山でした。頂上に鎖場もあり、爆裂火口の沼の平は見たこともない景色！そして、くろがね小屋までの色鮮やかな紅葉に感動しっぱなしでした。格安で二つの山に登れる贅沢な企画ありがとうございました。

堀　井：企画したイメージがピッタリとはまった山行でした。二つの山の特徴を十分に楽しむことができました。“錦秋に彩られた…”のフレーズそのまま実現しました。また、8人限定募集で行けなかった会員には申し訳ありませんでした。

山行報告　10/25 大門山・赤摩木古山

1571.6m　1501.0m

参加者　〈L〉岩井富雄、〈SL〉的場邦夫、小竹茂樹、川端友嘉、熊木龍己、小坪哲彦、續池　巌
桶本一栄、小竹伸子、熊木廣子、高井増美、續池静子、長谷部節子、（会員外）宮前スミ

【行程記録】

6：00	薬勝寺Ｐ	10：25～11：00	赤摩木古山頂上
7：05	登山口Ｐ着	11：30	大門山との分岐
7：20	出発	12：05・12：40	休憩
7：45・8：30	休憩	13：05	登山口Ｐ着
9：05	赤摩木古山との分岐	13：50	くろば温泉
9：25～40	大門山頂上	16：20	薬勝寺Ｐ帰着
9：55	赤摩木古山との分岐		

詳細な報告は次号№183

おぎ きよし 水彩画展　やま、山と花と果実と

三島野 SC の会報の表紙を飾る小木さんの個展が開催されます。
ご家族、友人などお誘い合わせてのご来場をおねがいします。

□ 12 月 1 日(火)～12 月 6 日(日)

午前 9 時から午後 5 時まで（入室は午後 4 時 20 分まで）
但し、最終日 6 日は午後 3 時で終了します

□ 射水市小杉展示館（射水市戸破茶屋町）

□ 入場無料

□ 後援　日本勤労者山岳連盟　三島野スポーツクラブ

2011. 7 月 №130 の表紙　有明山

展示作品は購入することができます。会場で小木さんに購入希望作品をお伝えください。
尚、開催日程の後半になると「売約済」がでますので、早めの観覧をおすすめします。

三島野スポーツクラブ運営役員

任務分担	氏　　名	住　　所	TEL
代　表	岩井　富雄	射水市宝町 1364-35	57-8180
副代表	小坪　哲彦	射水市中太閤山 5-59	56-3028
副代表	背渡　健治	高岡市五福町 11-45	23-2446
会計担当	荒井　英治	射水市上野 465	56-3058
会報担当	堀井　泰則	高岡市石瀬 748-6	25-2792

〔世話人会〕
的場邦夫、林　憲彦、　宮本久子、甲　厚子、島倉津也子、岩越理代　と左記の運営役員の方々で構成しています。
〔相談役〕　山田　格
　　黒川　衛
〔会計監査〕
竹内啓子・加藤日出子

世話人会は原則毎月の第一・第三月曜日に開催いています。

１１月は、第１月曜日 2日・第３月曜日 16 日とします。

尚、開会時間は７時 00 分～8 時 30 分です。

編集後記

◇ 北陸の地のこれからの季節は「時雨模様」の日が多くなります。そんな時期の里山は木々の葉が落ち、梢に残る赤く熟れた実がえもいわれぬ風情を醸し出してくれる。三千坊山や二上山を歩き「にわか文人」になってみてはいかがだろうか。

◇ そして、忘年会の予定が入ってくる時期。三島野 SC らしく二上山歩きとセットの企画です。“またひとつ歳が…”とネガティブにならず、来季に向けて体づくりをして「あらたな峰へ！」とポジィテブに！まあ、ひとつ酒を酌み交わしながら語ろうじゃないか。

◇ 北信越労山、県スポーツ連盟の交流会が続きました。クラブからの参加がいま一つ物足りなかったが、少なくない学ぶべきものをそんな機会に得ることができるのではないでしょうか。三島野 SC の小旗が労山の仲間から声がかかるように多くの仲間と一緒に活動し、楽しむことは大切ではないでしょうか。

◇ 福島の名峰・磐梯山と安達太良山の感動が伝わってきました。東北には未だ登ったことがない山が「山ほどある」のでいつかまた機会をつくりましょう。

◇ 『おぎ きよし水彩画展』に皆さんこぞって行きましょう。わが会報を飾ってくれた画はこれまで５０枚くらいになるだろうか。多くの人からお褒めをいただいています。サンキュー！です。

会報についてのご意見などお寄せください。山の出来事の面白い話も。
堀井まで　E メールアドレス horii.yasunori@rouge.plala.or.jp
ＦＡＸ　0766-25-2792
三島野スポーツクラブのホームページの URL
http://sportstoyama.namaste.jp/misimano/misimano.html　です

Ｅメールアドレスが変わったぞ～

インターネット「三島野スポーツクラブ会報」で検索し、その会の名称をクリックすると全ページカラーで見ることができます。